

玉野高生 愛媛・宇和島のイベント参加

玉野市・宇野港でマルシェ(市場)イベントなどを開いているNPO法人「UNOIC HI実行委員会」の高校生たちが、愛媛県宇和島市の高校生と「港町のおもてなし」で連携を始めた。17日、宇和島市でのクルーズ船歓迎イベントに初めて一緒に参加。記念グッズの販売やプレゼントなどを通して、外国人客との交流経験を深め合った。(松山定道)

港町のおもてなし連携

クルーズ船の誘致に ため、バハマ船籍の力を入れる宇和島商工 客船「カレドニアン」・会議所が先進地の事例 スカイ」(乗客定員1を学ぼうと昨秋、同実 14人)が宇和島港に行委の小倉理史理事長 入港するのに合わせ(44)をセミナーに招いて、同実行委の玉野高たのがきっかけ。互い 生7人が初めて訪問した。の活動を参考にしていた。



宇和島東高生(右)の通訳でエコボトルを外国人客に紹介する玉野高生

地元生徒と交流、刺激に

玉野高生は海のプラスチックごみを減らそうと企画したエコボトルと瓶詰めサイダーの販売。宇和島東高の国際協力部員17人は、愛媛県産和紙で飾った色紙に外国人の名前を漢字の当て字で揮毫してプレゼントした。

玉野高2年森下加奈己さん(16)は「日本文化の生かし方が面白い」、宇和島東高2年清水健さん(16)は「外国人をもてなすだけでなく、環境や経済も考える玉野の高校生はすごい」と互いに刺激を受けた様子。交流会では双方の特産を組み合わせた商品開発などの案が出た。

10月20日には、宇和島東高生が宇野港のクルーズ船歓迎イベントに参加する予定。小倉理事長は「『宇』の付く港同士、人のつながりを深めていきたい」と話した。

(C) 山陽新聞社 無断複製・転載を禁じます。